

## 常盤橋について

### 1 現在の常盤橋の経緯

平成 7 年	現在の常盤橋は、紫川の河川拡幅にあわせ、江戸時代の長崎街道を連想させる歩行者専用の木橋として架け替え
平成 11 年～	他都市において、常盤橋と同じボンゴシを使用した橋が腐食により落橋した事故を受け、常盤橋の調査と安全確認を行った結果、腐食の兆候が確認されたため、専門家の助言を受けながら補修等の対策を検討
平成 16 年～	防腐処理などの補修や補強を行うとともに、橋げたの沈下量を定期的に観測するなど、長く使うための維持管理を実施
令和 6 年 9 月	橋げたの沈下量の異常な変化と損傷が確認されたため、安全確保を優先して通行止めを実施
令和 7 年 1 月	常盤橋に関する懇話会を開催
令和 7 年 3 月	第一回常盤橋のあり方検討会を開催
令和 7 年 9 月	第二回常盤橋のあり方検討会を開催
令和 7 年 11 月～	常盤橋安全対策工事に着手
令和 8 年 4 月	「常盤橋のあり方検討会」と地元大学生が安全対策工事を見学

### 2 常盤橋のあり方検討会

#### (1) 第一回常盤橋のあり方検討会（令和 7 年 3 月 2 6 日）

##### 1) 開催概要

- ・常盤橋の歴史及び現在の常盤橋の損傷状況や技術的な所見（専門家による説明）
- ・歴史・文化性、まちづくりや観光資源の観点及び今後のあり方等に関する意見交換

##### 2) 意見交換

- ・常盤橋は、どのような形であっても残してほしい。
- ・木製の橋げたは補修が困難であるため、安全性を考えると早めに撤去すべき。
- ・架け替えてしっかり活用し、皆に愛され維持管理してもらえよう取組みをすべき。

#### (2) 第二回常盤橋のあり方検討会（令和 7 年 9 月 5 日）

##### 1) 開催概要

- ・安全対策工事等に関する報告（事務局：北九州市）
- ・架け替えを軸として今後のあり方に関する意見交換

##### 2) 意見交換

- ・常盤橋は、歴史的にも観光の視点でも重要。
- ・将来を担う若者の負担とならない再建やメンテナンスの計画が大事。
- ・歴史や観光、学びに加え、取り外した木材の再活用など SDGs の視点を取り入れてはどうか。

### (3) 「常盤橋のあり方検討会」と地元大学生による安全対策工事の現場見学 (令和8年4月13日)

#### 1) 現場見学の目的

- ・ 取り外された木材の状態から、今後の再活用の可能性を探る
- ・ 次世代を担う学生に向けたフィールドワークを実施

#### 2) 参加者

- ・ 常盤橋のあり方検討会構成員 6名
- ・ 地元大学生 21名 (西日本工業大学、九州工業大学)

### 3 今後の進め方

木製の橋げたを取り外した後、川の中に残ったコンクリートの橋脚が再利用できるかなどを調査・検討し、その結果を踏まえ、常盤橋のあり方検討会において、架け替えを軸に、総合的に議論を深めていく。

#### (参考) 構成員名簿(敬称略・五十音順)

氏名	所属・役職等
うえだ しゅう 植田 詩生	株式会社福岡リビング リビング北九州編集長
うちだ あきら 内田 晃	北九州市立大学 副学長 地域創生学群 教授
えびはら ゆうたろう 海老原 佑太郎	北九州市Z世代課パートナー (大学生)
おかもと まさる 岡本 勝	前 京町第一町内会 会長
しばやま しなこ 柴山 品子	長崎街道小倉城下町の会 理事
つじ としゆき 辻 利之	We Love 小倉協議会 会長
ながお まきのり 永尾 正剛	元 北九州市立自然史・歴史博物館 参事
まつもと ひろあき 松本 裕昭	西小倉校区自治連合会 会長
わたせ りの 綿瀬 鈴乃	北九州市Z世代課パートナー
わたなべ ひろし 渡辺 浩	福岡大学 工学部 教授

「第一回常盤橋のあり方検討会」資料より抜粋

常盤橋の由来

豊後国小倉城絵図



小倉 引島を望む景



シーボルト「日本」図録より

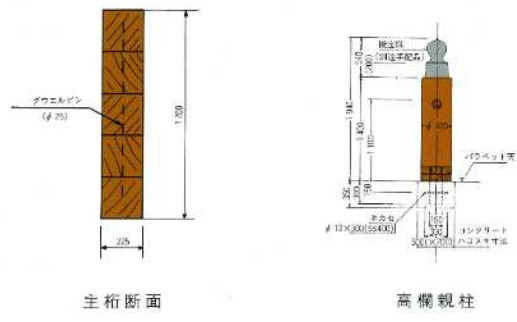
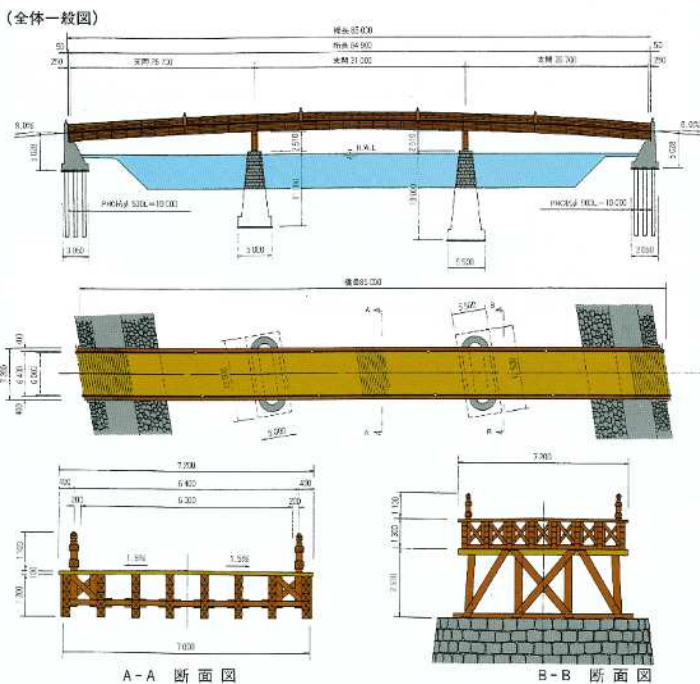
常盤橋の由来

北九州市

常盤橋は江戸時代の初め頃、小倉の城下町の東曲輪（主として町人が生活していた地域）と西曲輪（主として武士が生活していた地域）を結ぶ、重要な橋として架けられ、当初は大橋と呼ばれていました。この橋の西勢溜（橋詰）が長崎街道の起点となっていたため橋の周辺は幕府役人や旅人の宿などが立ち並んでにぎわっていました。参勤交代の大名や長崎奉行をはじめ、多くの人々がこの橋を渡っています。中でも有名なのがドイツ人医師シーボルトで、この橋を銅版画で紹介しています。

このように海と陸の玄関口として、九州の各街道すべてがこの大橋に連なり、九州における日本橋となっていました。治水対策として川幅を広げるため橋の架け替えが必要になったのを機会に、コンクリートと同じ強さを持つ木材を使い、江戸時代の姿「木の橋」としてよみがえることとなりました。（平成7年3月完成）

常盤橋の諸元



事業名：紫川マイタウン・マイリバー整備事業  
 (紫川都市小河川改修事業)  
 事業期間：平成4年度～平成6年度  
 橋梁形式：3径間連続ダウエル積層桁  
 L=85m W=7.2m  
 使用材料：木部 ポンゴシおよびチーク  
 鋼部 ステンレス

「第二回常盤橋のあり方検討会」資料より抜粋

## ソフト面に関する意見交換（その1）

### ■常盤橋を活用するための工夫



## ソフト面に関する意見交換（その5） 地域の方々による清掃例

長崎 出島表門橋 はしふき

橋の架設：2017年11月

月2回の「はしふき」活動は、2018年1月から始まり、2023年で5年目。

122回目（2023年3月時点）となる「はしふき活動」には、20人余りが参加。

午後6時前、参加者は出島表門橋の欄干や、周辺の公園の手すりの拭き掃除を始める。



(公社)土木学会HPより



- ・ 出島表門橋：橋長38.5m、幅員4.5m
- ・ 出島表門橋は無料で通行可
- ・ 橋を渡った先の出島エリアには入場料が必要



あり方検討会構成員及び地元大学生による現場見学

- ・ 大型クレーン車による橋げたの取り外し



- ・ 取り外した橋げたの腐食状況の確認



腐食部拡大

